

東日本大震災の復興支援への取組み状況の報告

報告日：平成 23 年 8 月 10 日 (第 2 報)

支部・部会・実行委員会・登録グループ名

機械部会

責任者名 / 報告者名

立石秀樹部会長 / 大和田義明

取組みの状況 (報告済み～7月末までの検討状況、予定等含む)

1. 中間報告～7月末までの取組みについて

- ・6月26日 機械部会有志による被災地訪問計画を立案したが、スケジュール都合により大和田義明が代表で訪問することに決定した。
- ・7月04日 被災地訪問 / 中小企業および地元民からの被災状況聴取：大和田義明
(訪問経路；仙台市宮城野区扇町 / 同左 福室～多賀城市桜木 / 同左 八幡)
- ・7月05日 被災地訪問 / 大企業および地元民からの状況聴取：大和田義明
(訪問経路；仙台市内～バス～石巻市内避難所3か所訪問 / 門脇および南浜～バス～東松島市野蒜～バス～松島海岸～仙石線～多賀城市桜木)
- ・7月11日 第1回東日本大震災復興支援報告会(葺手第2ビル)にて、これまでの取組み経緯を報告した。
- ・7月15日 第5回専門家と共に考える災害への備え～東日本大震災復興支援シンポジウム～に参加した。(東京都庁 / 内藤前委員が代理出席)
- ・7月19日 第7回全国防災連絡会議(テーマ「東日本大震災と防災会議の役割」)(8月25日開催)に向けた実行委員チームの第1回メンバー活動に出席した。
- ・8月03日 第7回全国防災連絡会議(テーマ「東日本大震災と防災会議の役割」)(8月25日開催)に向けた実行委員チームの第2回メンバー活動に出席した。

2. 今後の支部・部会としての取組みについて

今回、機械部会からの有志として被災地訪問を実施した。

防災支援委員会では、2011年11月に技術士会全体としての提言をまとめ、国や自治体へ提言する方向である。

機械部会としての活動は、5月30日までにまとめた復興への提言を徐々にではあるが、PDCAを廻しながら前進する方向付けである。従って、11月に技術士会全体としての提言をまとめるのは一つの通過点であると位置づける。

企業内技術士は企業内で復興作業を行っているので、独立技術士としては中小企業への復興支援のアドバイザーが一つの活動方向としても考えられる。

機械部会としては、アンケート等に基づき既に5月31日付で今後の活動方向を表明している。今回の被災地訪問の結果、「自然災害に強い機械装置の指針」をまとめることも、更に付加する一つの方向付けでもあると考えられる。

尚、5月31日付で提出した資料(アンケート結果等)、機械部会からの提出資料は、重複するので省略する。 以上

添付資料

本文に明記したように、5月31日付で提出した資料(アンケート結果等)、機械部会からの提出資料は、重複するので省略する。